


## 平成 30 年度 研究サマリー

研究会名称	保存期腎不全治療研究会	
代表者所属	医療法人 海の弘毅会 新北九州腎臓クリニック	
代表者氏名	海津 嘉蔵	
研究方法・結果	<p>1. 糖尿病性腎臓病 (DKD) を含む CKD の進行防止のため、多数治療目標厳格達成型治療をチーム医療で実施し、その効果を検討した。対象は 286 人 (男 143 人, 女 143 人 (DKD 65 人, 非 DKD 221 人))。CKDG3b 以上進行例は 112 人 (G3a 74 人, G4 52 人, G5 25 人) であった。1 年以上加療しえた患者は 65 人であった。どのステージも eGFR に有意な低下はなかった。腎不全病態を十分に改善し、栄養指導により蛋白摂取量, 食塩摂取量も制限しえた。特に G5 の 11 人は DKD5 人、非 DKD6 人でも eGFR の有意な低下はみられなかった。治療効果は充分みられた。</p> <p>2. CKD 患者 426 人の腎機能検査 3 種類 (eGFRcreat., eGFRcyst., 24hCcr) の相関性を G1 G2 21 人, G3a G3b 202 人, G4 G5 111 人で検討した。各ステージで 3 者は高い相関性を示した。しかし、G4 G5 に比し、腎機能が良好なほど 24 h Ccr は他の 2 者より高値を示した。結論 : eGFRcreat. は G3 以上で 24 h Ccr との差が拡大する。</p> <p>2. 第 61 回日本腎臓学会学術集会へ出席し、保存期腎不全治療に関する情報収集を行なった。</p>	
研究成果 (論文、学会発表、雑誌掲載等)	<p>【共同演者】</p> <p>案西敦子ほか : 「チーム医療を用いた CKD 外来診療の重症化予防効果」、第 12 回日本 CKD チーム医療研究会、東京、2018.11</p> <p>案西敦子ほか : チーム医療を用いた CKD 外来診療の重症化予防効果、第 1 回九州 CKD 看護研究会、福岡、2018.09</p> <p>案西敦子ほか : CKD 専門外来でチーム医療を行った末期腎不全患者の経過、第 51 回九州人工透析研究会、鹿児島、2018.11</p>	